



# 2015年度「連帯社会」連続講座

主催：公益財団法人 日本労働文化財団

連帯社会研究交流センター

参加費無料  
要申込

「連帯社会研究交流センター」は、連合、日本労働文化財団、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立する修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

昨年度に引き続き、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。第4回は、北島健一氏をお招きして、「連帯経済の視点から連帯社会を考える」というテーマでご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、参加申し込み方法につきましては、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行なう方法をとらせていただきますので、「イベント・シンポジウム」<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

## 第4回：連帯経済の視点から連帯社会を考える —経済・コミュニティ・政治のあり方をめぐって

日時 2015年12月19日（土）13：30～15：30

場所 法政大学市谷キャンパス 58年館 877教室

講師：北島 健一 氏（立教大学教授）

北島健一(きたじま けんいち)氏のプロフィール

1955年生まれ。立教大学コミュニティ福祉学部教授。社会経済学の観点から、NPOや協同組合など民間の非営利の事業体を素材にして、経済=市場経済という一面的な見方を問い直し、多面的な経済のあり方を研究している。最近では就労支援、社会サービス、地域づくりの分野の社会的企業と呼ばれる新しいタイプの事業体、およびそれを支える公共政策に関する研究に取り組んでいる。主な著書・論文：「コミュニティ・ビジネスと連帯経済 一貫い物弱者問題から考える」坂田周一監修『コミュニティ政策学入門』（2013、誠信書房）、「福祉国家と非営利組織」宮本編『福祉国家再編の政治』（2003 ミネルヴァ書房）、「フランスにおける市民セクター」西堀編『社会科学リテラシーの確立に向けて』（2003 日本評論社）など多数。



### プログラム \*来聴歓迎\*

13：30～15：00 講演  
15：00～15：30 質疑応答

～お問い合わせ～  
連帯社会研究交流センター  
(ReCSS)  
URL: <http://recss.jp>  
e-mail: [info@recss.jp](mailto:info@recss.jp)



法政大学市谷キャンパス JR飯田橋駅/市ヶ谷駅下車徒歩10分